

アレルギー除去食に関する連絡書(主治医意見書)－愛媛版2014－

名前 さん(男、女) 平成 年 月 日 生

診断名 1 食物アレルギー 2 3

本児は診察、検査の結果、以下の食物について除去が必要と考えられます。

1. 除去が必要な食品名、および調理と食事の際の注意点は以下の通りです。

鶏卵 牛乳 小麦 大豆 ピーナッツ ナッツ類 ゴマ
 甲殻類・軟体類 魚 肉 果物 魚卵 山芋 ソバ

* 詳細は2頁目の除去食物指導表を参照してください。

微量のアレルゲン混入を防ぐため専用の調理器具の使用が必要 一般的対応で可
誤食を防ぐため充分な観察と注意の中で食べさせることが 必要 一般的対応で可
定期的内服薬の有無 有()無

2. 食物アレルギーと診断した方法は次の通りです。

問診・視診、 食物日誌、 食物除去・負荷試験の反応、 皮膚テスト、
 血液検査 (IgE, RAST, HRT等)、 その他 :

3. 摂取した場合に出現する可能性のある症状は次の通りです。

食品名 1 2 3 4 5 6 7

鶏卵 未摂取のため不明 その他()
 未摂取のため不明 その他()
 未摂取のため不明 その他()
 未摂取のため不明 その他()
 未摂取のため不明 その他()

出現しうる症状 1 ショック 2 咳き込み・呼吸困難 3 嘔吐・腹痛 4 全身蕁麻疹

5 赤み・かゆみ 6 下痢 7 アトピー様皮膚炎の悪化

4. 原因食品摂取時には、保護者に至急連絡し指示を受けて下さい。

緊急の場合には以下の対応が必要です 緊急の対応が必要となる可能性は少ない

内服薬()

医療機関連絡・受診: 当院 救急病 その他()

自己注射(エピペン0.15mg・0.3mg)

* 緊急の事態に園・学校から保護者へ連絡がとれない場合、園・学校から主治医に連絡し指示を受ける
保護者が同意 している していない 不明

5. 本連絡書(意見書)の内容については、下記の期間をおいて再評価が必要です。

1ヶ月後 3ヶ月後 6ヶ月後 1年後 ()年後

6. その他の連絡事項

平成 年 月 日

医療機関

電話番号

医師

印

患者名： さん 平成 年 月 日記入

除去食品指導表

食物アレルギーのため除去の必要な食品は、□にチェックを入れます。

鶏卵アレルギー

- 生卵や生メレンゲを使ったお菓子
生卵入りの生クリーム・アイスクリームなど
- 半熟卵を含む料理や菓子
親子どんぶり・かき玉汁・卵とじ
カスタードクリーム・マヨネーズなど
- 加熱卵白を相当量含む料理や菓子
卵焼き・茶碗蒸し・ゆで卵・薄焼き卵
プリン・カステラ・ケーキ・菓子パンなど
- 加熱卵白を中等量含む菓子
ドーナツ・卵ボーロ・クッキー・ビスケット
- つなぎに卵白を少量含む製品
練り製品・ハム・ソーセージ・ベーコン
- 加熱した卵を微量含む
食パン・天ぷら粉・麺類など
- 固ゆで卵の卵黄

牛乳アレルギー

- 牛乳・粉ミルク・フルーツ牛乳
- 生の牛乳を用いた食品
アイスクリーム・生クリーム
- チーズ
- 加熱牛乳、ヨーグルト
- 牛乳を加熱して使った料理
プリン、ホワイトソース
- 乳酸菌飲料
- 牛乳を含むパン・焼き菓子
- バターのみを含むパン・焼き菓子
- バター、マーガリンを使った料理

※ 分かっている場合、

牛乳換算(g)まで

※ アレルギー用ミルクを使用している場合
ミルク名()

小麦アレルギー

- 小麦粉を主体とした製品
うどん、スペグッティー・パスタ類
麩(ふ)、パン類
- カレー・シチューなどのルー
- 肉・練り製品のつなぎ
- オートミール・麦茶
- 小麦入り醤油、味噌など

大豆アレルギー

- 豆乳 大豆 きなこ
- 枝豆 おから
- 納豆 豆腐
- 大豆もやし
- 大豆入り味噌や醤油
- 大豆油を使った料理や菓子

- ピーナッツ ナッツ全般 (アーモンド
甲殻類・軟体類 全般 エビ カニ クルミ カシューナッツ
魚 全般 右の魚のみ不可 タコ 貝類
肉類 鶏肉 牛肉 豚肉
果物 キウイ バナナ リンゴ モモ
魚卵 全般 (イクラ)
その他 山芋 ソバ ゴマ